

'63

セイコー技術手帳

〜防水〜

株式会社 服部時計店



かつては特殊な職業の人々のみに必要とされた防水時計も、現在では腕時計の一つの機能として広く一般の人々に愛用されるようになってまいりました。山に、海に、あらゆるスポーツにご使用いただき、水や汗から完全に時計をまもる**セイコー防水時計**は、変化に富んだ現代の生活に欠くことのできないものといえます。

最新の設備と豊富な経験を誇るセイコーの技術陣によって研究され、数回にわたる厳重なテストを経てはじめて製品化される**セイコー防水時計**は、新時代のウォッチとして自信をもっておすすめできる生活の必需品です。

以下、**セイコー防水時計**のすべてについてご説明いたします。販売に修理に、100パーセントご活用ください。

目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. セイコー防水時計一覧表 | 3 |
| 2. 防水試験について | |
| 1. 減 圧 試 験 | 5 |
| 2. 加 圧 試 験 | 6 |
| 3. 凝 結 試 験 | 6 |
| 3. セイコー防水時計の構造 | 7 |
| 4. セイコー防水時計の修理にあたって——分解と組立—— | 9 |
| 1. 2つ開き中枠付き | 9 |
| 2. 2つ開き中枠なし | 11 |
| 3. 3つ開き | 13 |
| 5. 防水治工具の取扱い方 | |
| 1. 防 水 側 締 具 | 16 |
| 側番別受コマ使用組合わせ一覧表 | 18 |
| 2. オープナー、ケースホルダー | 19 |
| 使用組合わせ一覧表 | 21 |
| 3. 減圧防水試験器 | 22 |
| 6. 部品をご注文なさるときの注意事項 | 27 |
| 7. お客様に——セイコー防水時計の正しいご使用法—— | 29 |
| 附表 セイコー防水時計部品一覧表 | 30 |

1. セイコー防水時計一覽表

| | 機 種 名 | 略号 | 石数 | 側質 | 防 水 マ ー ク | 小売価格 | 備 考 |
|--|------------------------|--------|----|--------------|-----------|-----------------|------------|
| 高級 防水 時計 WP 50 | セイコーマチック セルフデーター | MASK | 39 | SS | ドルフィン | 18,000 | 規正付 |
| | セイコーマチック | MA | 20 | SS | シルバーウェーブ | 11,000 | 回転目 盛板付 |
| | ク ロ ノ ス | C | 21 | SS | シ ー ホ ー ス | 7,800 7,900® | |
| 標 準 防 水 時 計 WP 30 | セイコーマチック セルフデーター | MAS | 24 | SS | ドルフィン | 12,500 | |
| | セイコーマチック | MA | 20 | SS | ドルフィン | 9,600 9,700® | |
| | スポーツマチック | SMA | 17 | SS | ドルフィン | 7,000 | |
| | フェアウエイ | FW | 21 | ASTP AEGP | シ ー ホ ー ス | 7,400 8,500 | |
| | スカイライナー | SLN | 21 | SS | シ ー ホ ー ス | 7,300 | |
| | チャンピオン | CH | 19 | SS | シ ー ホ ー ス | 5,700 5,800® | |
| | チャンピオン 850 | CH 85 | 17 | SS | シ ー ホ ー ス | 5,200 | |
| | ファッション | FA | 17 | EGP | エンゼルフィッシュ | 7,800 | 婦人用 |
| 実 用 防 水 時 計 WP 10 | スポーツマチック ファイブ | SMA 5 | 21 | STP EGP | ドルフィン | 8,300 9,800 | |
| | スポーツマチック カレンダー | SMAC | 19 | SS | ドルフィン | 8,500 | |
| | チャンピオン カレンダー | CHC | 19 | SS | シ ー ホ ー ス | 7,000 | |
| | チャンピオン カレンダー 860 | CHC 86 | 17 | SS | シ ー ホ ー ス | 6,700 | |
| | チャンピオン 850 | CH 85 | 17 | SS | アルピニスト | 4,500 | |
| | チャンピオン | CH | 17 | SS | アルピニスト | 4,500 | |
| | スポーツマンセブン ティーンカレンダー | SMSC | 17 | SS | シ ー ホ ー ス | 4,700 | |
| | スポーツマン セブンティーン | SMS | 17 | SS | シ ー ホ ー ス | 4,000 4,100® | |
| | コ ー ラ ス | CR | 17 | SS | エンゼルフィッシュ | 4,500 | 婦人用 |

®は夜光付

防水マークは下記のものを使用しています。

◆シーホース——紳士用手巻防水時計 ◆ドルフィン——紳士用自動巻防水時計



◆エンゼルフィッシュ——婦人用手巻防水時計



このほか、特殊ものとして、現在下記2点のものがあります。

◆シルバーウェーブ

◆アルピニスト



上記マークはタグにも表示され、それぞれ次のように防水性能別に色分けされています。

金色タグ——高級防水時計 (WP50)

銀色タグ——標準防水時計 (WP30)

銅色タグ——実用防水時計 (WP10)

2. 防水試験について

セイコーの防水時計は、下記の嚴重な試験を行ない、これに合格したものです。これらの試験はまず側だけについて行なわれ、さらに機械を組み込んだ完成品の状態で再び試験され、これに合格したもののみが市場におくり出されます。

1. 減圧試験

減圧試験器の中に時計を入れ試験器内の圧力を $\frac{1}{2}$ 気圧に減圧します。時計内部の気圧は 1 気圧ですから試験器内の圧力との間に $\frac{1}{2}$ 気圧の差が生じ、完全に気密でない時計からは空気がもれ、気泡が生じ、防水性の良否が確かめられます。この試験は大変厳しい試験方法ですが、これに合格したセイコー防水時計はそれだけすぐれた性能をそなえているといえます。

(註) 気圧とは

大気の圧力、いいかえれば空気の重さです。

1 気圧とは

0℃において水銀柱 760mmを押し上げる大気圧のことです。

通常私達はほぼ 1 気圧の大気にとり囲まれていますから、その大気中で組立てられた時計の内部も同様に 1 気圧となり、時計内外に圧力の差は生じません。

ところで、水深 10m のところでは、気圧の他にさらに 1 気圧に相当する水の重み、即ち水圧が加わります。同様に 30m では 3 気圧、50m では 5 気圧の水圧がさらに加わります。従って時計をそこまで入れるには、1 気圧、或いは 3 気圧、5 気圧の圧力差に耐えうる強度と水密性とを併せもたなければなりません。

$\frac{1}{2}$ 気圧とは

逆に標高 5,000m ぐらいの高山に登ったとすればそのときの大気圧は約 $\frac{1}{2}$ 気圧となり、時計の内部に対して約 $\frac{1}{2}$ 気圧の圧力差が生じます。但しこの場合には外の圧力の方が小さいので、水中に入れたときとは逆の方向の力に耐えることと、それに伴う気密性が要求されるのです。

防水時計とは

この互に異なった圧力に耐える強度

それに伴う水密性・気密性

そして、さらに水や汗に侵されない材質

この 3 つを併せもつ時計こそはじめて防水時計といい得るのです。

2. 加 圧 試 験

減圧試験後さらに加圧試験を行ない、実用防水時計は1気圧、標準防水時計は3気圧、高級防水時計は5気圧の加圧に耐えるかどうか試験します。

加圧試験器に時計を入れ、試験器内の圧力を徐々に上げて、指定圧力になったところで数分間放置します。時計内部の気圧は1気圧ですから、試験器内の圧力との間にそれぞれ1気圧・3気圧・5気圧の差が生じ、完全に圧力に耐えられない時計には水が入ることになります。このようにして防水性を確かめるのが加圧試験です。

3. 凝 結 試 験

加圧試験で水が入らなかったことを確認するために、凝結試験を行ないます。加圧試験の終わった時計を、約50℃にあたためた鉄板の上に、ガラス縁を上にしてのせます。時計内部だけがあたためられ、ガラスは空気に触れているのでガラス面は時計内部より温度が低くなります。このため、水の入った時計はガラス面に露を結び、クモリが発生するわけです。

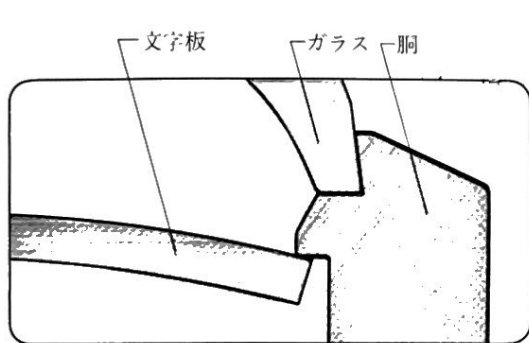
以上で**セイコーの防水試験**がどんな内容のものであるかがおわかりと思います。**セイコーの防水時計**は、これら減圧、加圧、凝結の各嚴重な試験をそれぞれ立派に合格したものばかりです。

このよううらづけの上にたってはじめて正確、堅牢、更に完全な防水機能をそなえた防水時計を市場におくり出すことが出来るのです。

3. セイコー防水時計の構造

セイコーの防水時計は、下図のような構造(形式)に分かれています。

● ガラス縁

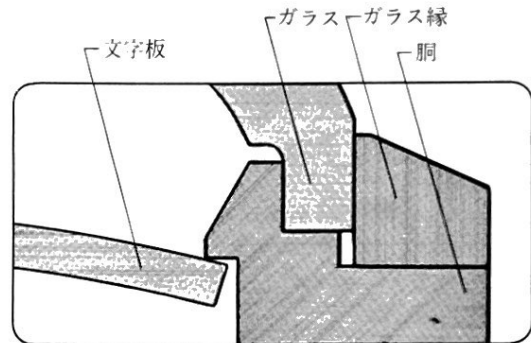


A

第 1 図

ガラス絞り込み式 (接着剤使用)

チャンピオン 19石 J 13047 など

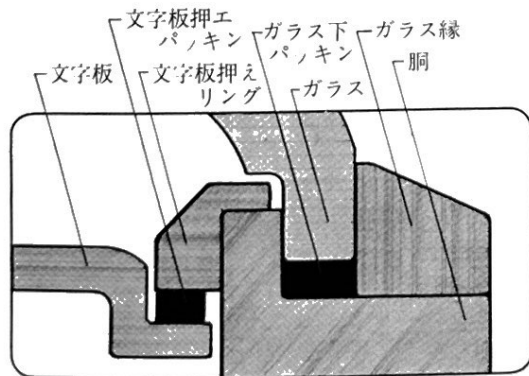


B

第 2 図

ガラス締付式

チャンピオン850 17石 J 13079 (アルピニスト) など

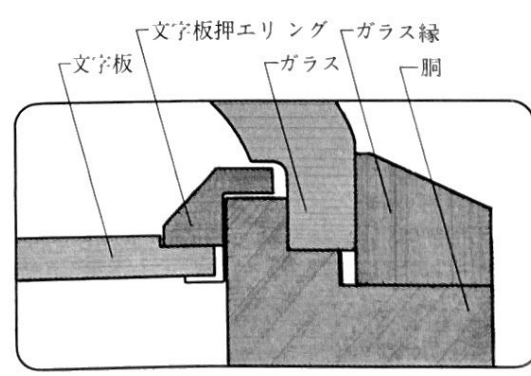


C

第 3 図

ガラス締付式 (文字板押えリング、文字板押えパッキン、ガラス下パッキンつき)

フェアウェイ 21石 J 13048 など



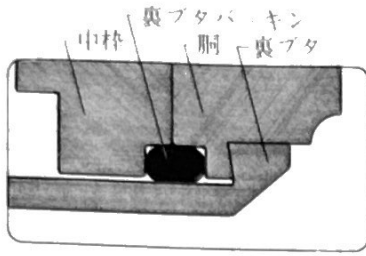
D

第 4 図

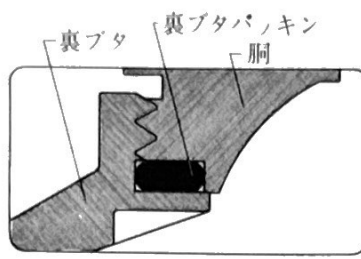
ガラス締付式 (文字板押えリングつき)

スポーツマチックファイブ 21石 J 13081 など

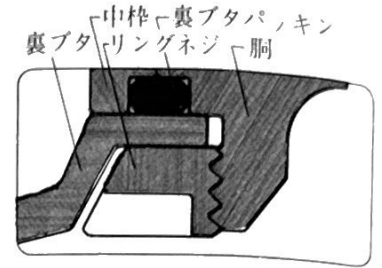
● 裏 プ タ



第 5 図 E
裏ボタンナップ式
スポーツマチック ファイブ
21石 J 13081 など。

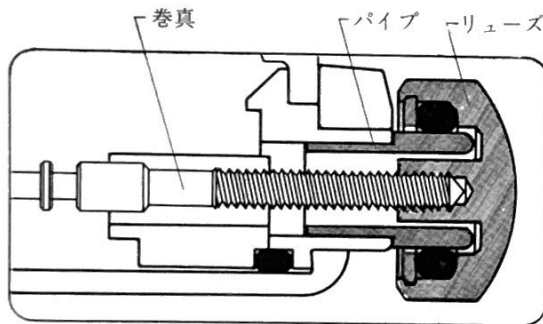


第 6 図 F
裏ボタンスクリュー式 (一体)
セイコーマチック
セルフデーター
39石 J 13060 など

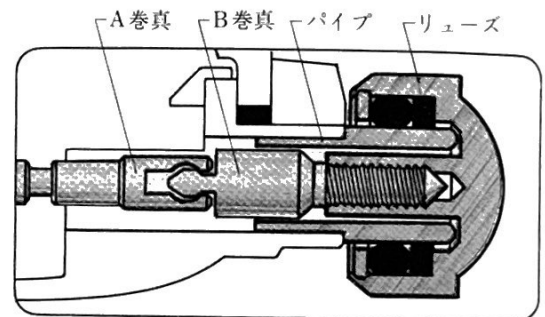


第 7 図 G
裏ボタンスクリュー式 (リング)
セイコーマチック
20石 J 12082
(シルバーウェーブ) など

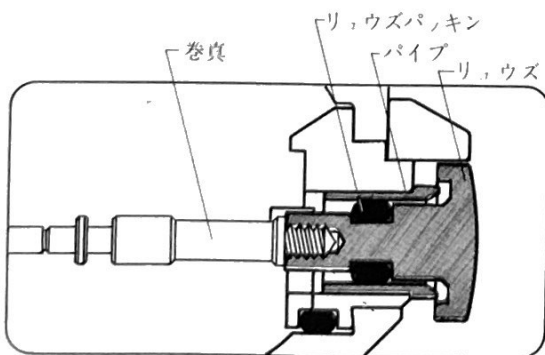
● リューズ



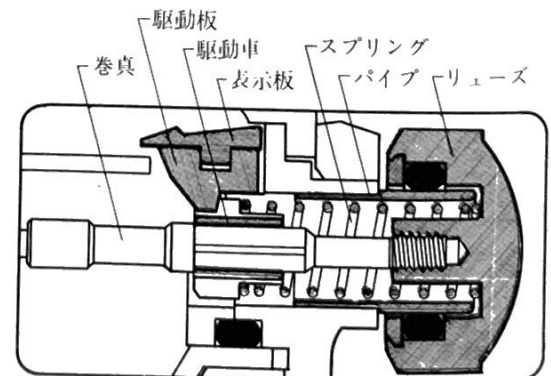
第 8 図 H
リューズ (手巻防水時計用)
チャンピオン850
17石 J 13079(アルピニスト) など



第 9 図 I
リューズ (手巻防水時計用) つぎ手巻真式
フェアウェイ 21石 J 13048 など



第 10 図 J
リューズ (自動巻防水時計用)
スポーツマチック ファイブ
21石 J 13081 など



第 11 図 K
リューズ及び回転目盛板
セイコーマチック 20石 J 12082
(シルバーウェーブ用)

4. セイコー防水時計の修理にあたって

— 分解と組立 —

防水時計は一般の時計と異なり、防水時計独特の機構と、特殊な部品を数多く使用し、これらの組み合わせによってはじめて防水性能を発揮するものです。従って、その修理にあたっては、**セイコー防水時計の純正部品**をご使用いただくことはもちろんですが、更には防水機構の完全な理解と、入念な組立及び試験が必要とされます。

このたび、セイコーが発売いたしました**セイコー防水時計治工具**（防水側締具、オープナー・ケースホルダーセット、減圧試験器の3点）をお備えいただければ、**セイコー防水時計**の修理に際して更に万全を期することができると存じます。

セイコー防水時計の分解と組立は、次の順序で行なってください。以下3形式に分けて、ご説明します。

1. 2つ開き、中枠付き

このタイプはガラス破損、文字板押エリングの汚染などの場合を除いて、通常の修理の際は、ガラス縁をはずす必要はありません。

ガラス破損、文字板押エリング汚染のため、ガラス縁をはずす際は、前もって機械をはずした後、中枠なし（11ページ）又は3つ開き（13ページ）ガラス縁の項をご参照ください。

| | | | |
|--------|---------------------|-----|-----------|
| ◎該当機種： | セイコーマチック | 20石 | J13044 |
| | スカイライナー | 21石 | 14092 |
| | セイコーマチック | 20石 | J12082 |
| | セイコーマチック セルフデーター | 39石 | J13060 |
| | クロノス | 21石 | J13046 など |

〔分解〕—— 2つ開き、中枠付き ——

| 作業方法 | 注 意 点 |
|--|---|
| <p>1. 裏ブタをはずす。 スナップ（喰付）式の場合 側アケであける。 スクリュー（ネジ）式の場合 万力に固定した受台に時計を入れ、ネジブタに合うオープナーを使用してはずす。</p> <p>2. パッキンをはずす。</p> <p>3. 巻真（リュウズ付）をはずす。</p> <p>4. 機械をはずす。 裏ブタ側から、中枠がついたままはずす。</p> | <p>○ 1箇所だけでなく、全周にわたって力をかけるようにしてあける。</p> <p>○ 21ページ、一覧表参照。</p> <p>○ 静かに傾けてはずす。</p> |

〔洗 滌〕

普通の時計と同じく、ベンジンまたはトリクレンを使って洗滌する。パッキン及びリュウズ（パッキン入のみ）については、アルコール、ベンジンでおこない、トリクレン、シンナー等はパッキンを変質させますので、絶対使用しないでください。またベンジンでも5分以上浸けておきますと変質の恐れがあります。

〔組 立〕

| 作業方法 | 注 意 点 |
|--|--|
| <p>1. 機械を側に取付ける。</p> <p>2. 裏ブタOリングパッキンを入れる。</p> <p>3. 裏ブタを締める。 ・ スナップ式の場合：締具 ・ スクリュー式の場合：オープナーを使う。</p> | <p>○ 洗滌の終わったリュウズ（特にパッキン部）、パッキンは、きずがついていないかよく検査して、きずのあるリュウズ、パッキンは新品と交換してください。</p> <p>○ リュウズ内部のパッキンに予めセイコー専用シリコングリス50を少量塗布する。</p> <p>○ 特に自動巻時計で文字板にミミのあるものは、機械を側に取付ける際、文字板のミミを文字板押エリングの溝に合わせること。</p> <p>○ セイコー専用シリコングリス50を少量塗布する。多すぎると時計内部に流れ込み、止りの原因になる恐れがあります。</p> <p>○ ねじれがないように注意しながら、正しくパッキン溝に入れる。</p> <p>○ Oリングパッキンがねじれたり、溝からはみ出たりしないように、注意して締める。</p> |

2. 2つ開き、中粹なし

◎該当機種：フェアウエイ 21石 J 13048

〔分解〕

| 作業方法 | 注意点 |
|---|--|
| 1. リュウズ（B巻真）をはずす。 リュウズを強く引張る。 剣回しのために、リュウズを引出す程度の力ではA巻真とB巻真は分離せず、更に大きな力で引張るとはずれる。 | |
| 2. ガラス縁をはずす。 側アケであける。 | ○1箇所ではなく、全周にわたって力をかけるようにしてあける。 ○ガラスとガラス下パッキンをきずつけないように注意する。 |
| 3. ガラスをはずす。 | |
| 4. ガラス下パッキンをはずす。 | |
| 5. 文字板押エリングをはずす。 | ○側アケであまり力を加えないように、こじあける。 |
| 6. 文字板押エパッキンをはずす。 | |
| 7. 機械を文字板方向からはずす。 | ○静かに傾けてはずす。 |

〔洗滌〕

普通の時計と同じくベンジンまたはトリクレンを使って洗滌します。パッキン及びリュウズ（パッキン入のみ）については、アルコール、ベンジンでおこなない、トリクレン、シンナー等はパッキンを変質させますので、絶対使用しないでください。又ベンジンでも5分以上浸けておきますと変質の恐れがあります。

[組立] — 2つ開き中枠なし —

| 作業方法 | 注意点 |
|--|--|
| <p>1. 機械を側に入れる。</p> <p>2. リュウズ (B 巻真) をつける。 パイプの外から B 巻真を A 巻真の溝を確かめながら押込むとパチンとかみ合う。</p> <p>3. 文字板押エパッキンをつける。</p> <p>4. ガラス下パッキンをつける。</p> <p>5. 文字板押エリングをつける。</p> <p>6. ガラスをはめ込む。</p> <p>7. ガラス縁をはめ込む。 コジ開け口を 6 時の位置にして “締具” を用いてはめ込む。</p> | <p>○ A 巻真 (機械側) が機械にしっかりついているかどうかを確認する</p> <p>○ 洗滌の終わったリュウズ (特にパッキン部) パッキンは、きずがついていないかよく検査してきずのあるリュウズ、パッキンは新品と交換してください。</p> <p>○ リュウズ内部のパッキンに予めセイコー専用シリコングリス50を少量塗布する。</p> <p>○ リュウズをまわして、接合具合を確かめます。</p> <p>○ 文字板をよごすので、このパッキンにはシリコングリスを塗らないこと。</p> <p>○ セイコー専用シリコングリス50を薄く塗布する。</p> <p>○ シリコングリスが付着することのないように注意する。</p> <p>○ 目盛の位置に注意して、取付ける。</p> <p>○ 入れてから指で回して、よく落着かせること。</p> <p>○ ガラス縁と胴の間にスキがないこと。</p> |

3. 3つ開き

◎該当機種：チャンピオン 17石 14082(フライングフィッシュ)

〔分解〕

| 作業方法 | 注意点 |
|-----------------------------|--|
| 1. ガラス縁をはずす。 側アケであける。 | ○ 1個所でなく、全周にわたって力をかけるようにしてあける。 ○ ガラスをきずつけないように注意する。 |
| 2. ガラスをはずす。 | |
| 3. ガラス受リングをはずす。 | ○ このリングは入っている側と、入っていない側があります。 |
| 4. 文字板押エリングをはずす。 | ○ 側アケであまり力を加えないようにこじあける。 |
| 5. 裏ブタをはずす。 側アケであける。 | ○ 1箇所ではなく、全周にわたって力をかけるようにしてあける。 |
| 6. 裏ブタOリングパッキンをはずす。 | |
| 7. 側止めネジ(2本) 巻真(リュウズ付)をはずす。 | |
| 8. 機械を文字板方向からはずす。 | ○ 静かに傾けてはずす。 |

〔洗滌〕

普通の時計と同じく、ベンジンまたはトリクレンを使って洗滌する。パッキンおよびリュウズ(パッキン入のみ)についてはアルコール、ベンジンでおこない、トリクレン、シンナー等はパッキンを変質させますので、絶対使用しないでください。又ベンジンでも5分以上浸けておきますと変質の恐れがあります。

[組立] — 3つ開き —

| 作業方法 | 注 意 点 |
|---|--|
| <p>1. 機械を側に取り付ける。</p> <p>2. ガラス受リングをつける。</p> <p>3. 文字板押エリングをつける。</p> <p>4. ガラスをはめ込む。</p> <p>5. ガラス縁をはめ込む。 コジ開け口を6時の位置にして、“締具”を用いはめ込む。</p> <p>6. 裏ボタンリングパッキンを入れる。</p> <p>7. “締具”で裏ボタンを締める。</p> | <p>○洗滌の終わったリュウズ（特にパッキン部）パッキンは、きずがついていないかよく検査して、きずのあるリュウズ、パッキンは新品と交換してください。</p> <p>○リュウズ内部のパッキンに予めセイコー専用シリコングリス50を少量塗布する。</p> <p>○このリングは入っている側と入っていない側があります。</p> <p>○側から浮かないように、十分に押込む。</p> <p>○側から浮かないように注意する。</p> <p>○入れてから指で回して、よく落着かせること。</p> <p>○ガラス縁と胴の間にスキがないこと。</p> <p>○セイコー専用シリコングリス50を少量塗布する。多すぎると時計内部に流れ込み、止りの原因になる恐れがあります。</p> <p>○ねじれがないように注意しながら正しくパッキン溝に入れる。</p> <p>○Oリングパッキンがねじれたり、溝からはみ出たりしないように注意して締める。</p> |

▲シルバーウェーブの

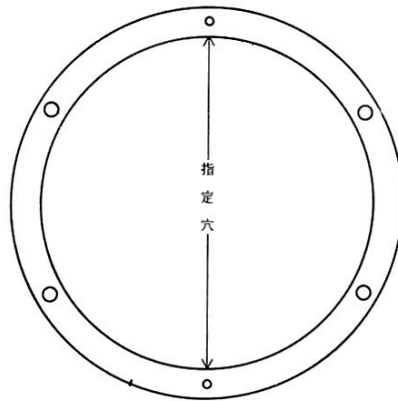
表示板と駆動板の組み合わせについて

表示板の足を入れる駆動板の穴は、6個ある穴のうち、4個は案内穴で指定の穴は対角線上の2個です。(第12図参照)

[指定穴の見分け方]

指定の穴は案内穴にくらべて小さい。

案内穴へセットした場合、はずれ、ガタ、駆動板の歯欠け、回転不良等が発生する恐れがありますので、シルバーウェーブの表示板と駆動板との組み合わせには充分ご注意ください。



第 12 図

5. 防水治工具の取扱い方

1. セイコー防水側締具

この締具は一般時計側よりもはるかに密着性を要求される防水時計側のガラス縁及びスナップ式裏蓋の締付けに使用する治具です。15個（30面）の受コマを組合わせて使用することにより、セイコー防水時計側全般に利用できます。ガラス縁、裏蓋の締付けに際しては受コマとの接触面全体に均等に力を加える事が必要ですので、この締具は上下のスピンドル部分に厳密な設計が施されています。

使用 方 法

1. 修理する側に合う受コマ（18ページ側番別使用組合せ一覧表参照）を締具のスピンドルに押込みます。（第13図）

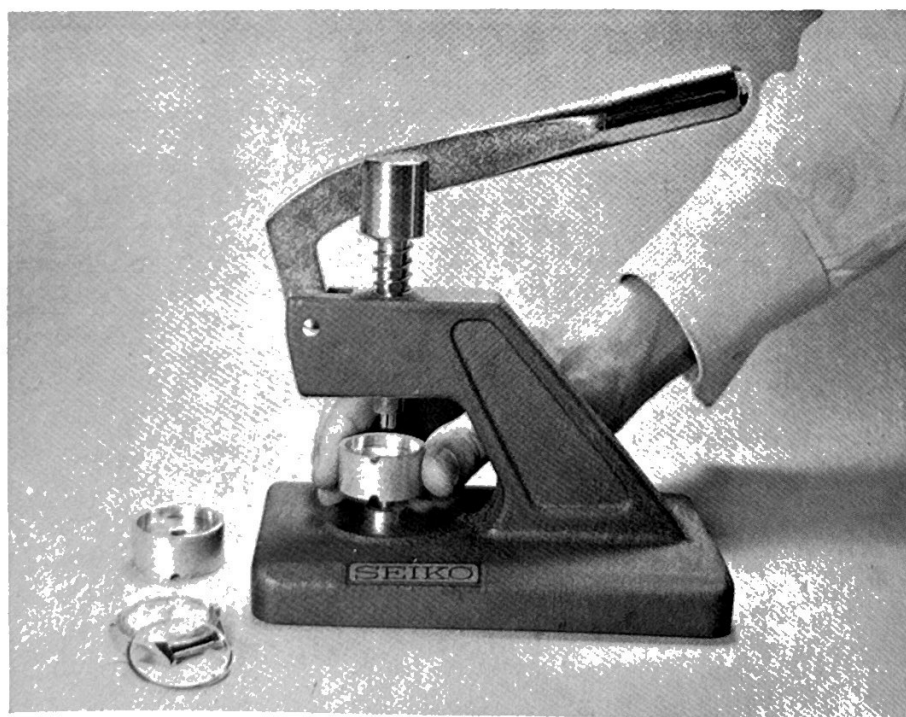
（注）①特に上下の指定はありません。

②受コマのリュウズ逃げ部分を上下合わせるようにします。

2. 側をコマの上へのせ、正しく落着かせます。

（注）時計のリュウズ位置をコマのリュウズ逃げ部分に合わせるようご注意ください。

またガラス挿入の際はガラス縁のこじあけ口の位置（6時方向）に注意してください。



第 13 図

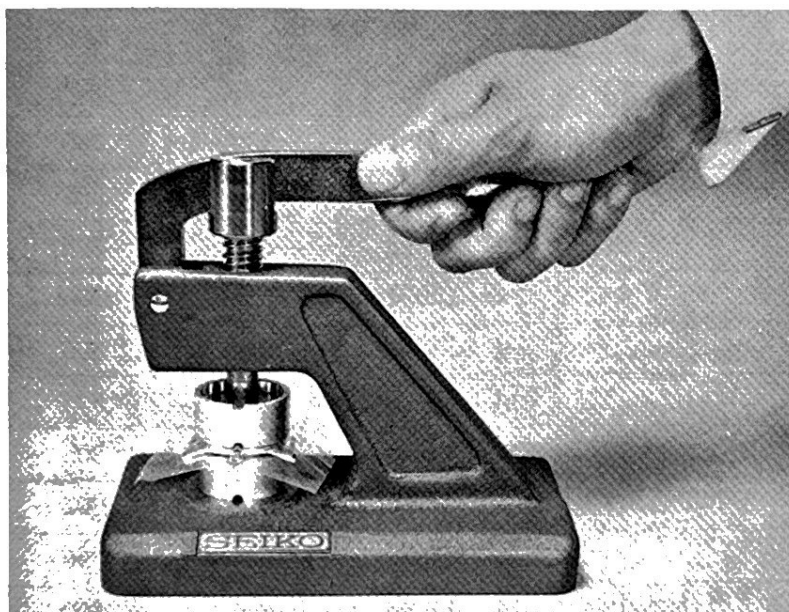
3. ガラス縁に傷がついないように薄いビニールを敷きます。
4. 受コマがガラス縁（或いは裏蓋）を少し押えるまで静かにレバーを押します。(第14図)
5. 側の位置を確認してレバーを強く押してください。

(注) ①ガラス挿入の際は、ガラス縁は水平にし、圧力が平均に加わるようにします。

②裏蓋挿入の際は裏蓋の位置に特に注意してください。

価 格

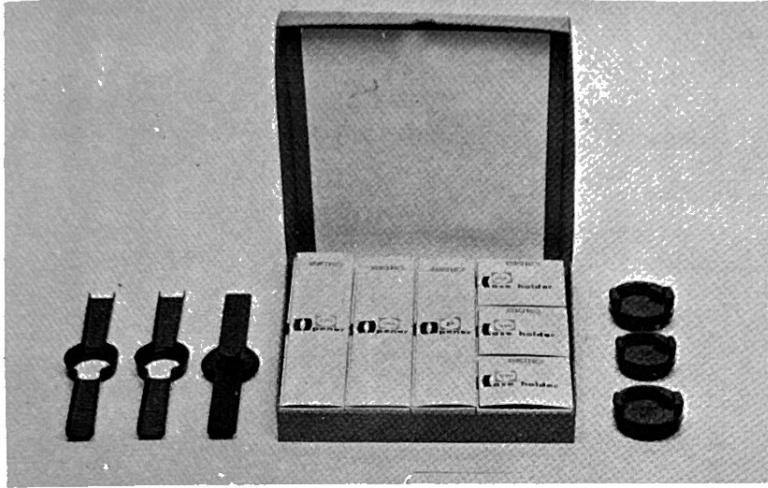
締 具 1セット 7,000円



第 14 図

2. オープナーとケースホルダー

この治工具セットでセイコー防水時計のネジ蓋はすべて自在に開閉できます。



第 15 図

使用 方 法

溝式ネジ蓋（シルバーウェーブ等）開閉の場合は、ピンを調節して自在に使えるP型（第15図・第16図参照）を使用します。

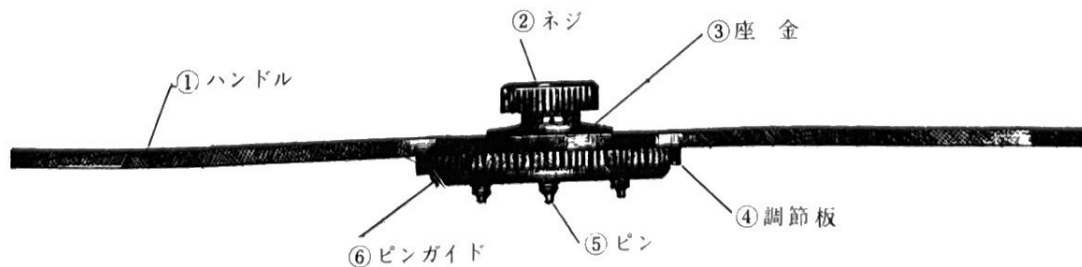
1. ハンドル①中央のネジ②を少しゆるめます。
2. 調節板④を回わして▲印をハンドル上のサイズに合わせます。

※ハンドル上のサイズは第17図の如く相対する溝と溝との内側の距離(A)をミリ単位で表わしたものです。(第17図参照) 使用の際は溝と溝の距離(A)より1ミリ程度大きめの方が楽に開閉できます。

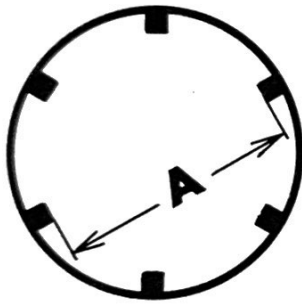
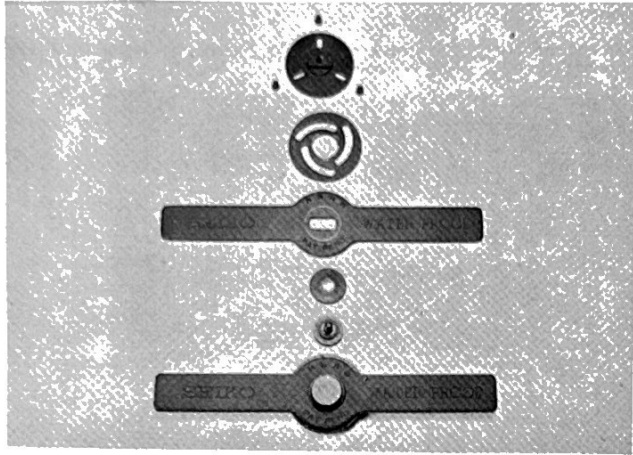
3. ピンの調節が終わったらネジを強く締めてください。(第16図)

ボックス式ネジ蓋（セイコーマチックセルフデーター39石等）開閉の場合は270型又は280型（第20図）を使用します。

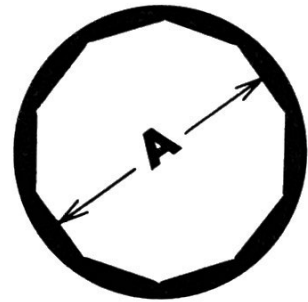
※ハンドル上の数字270, 280はこのオープナーに合うケースの裏蓋10角部の相対する辺の距離(A)を $\frac{1}{10}$ ミリ単位で表わしています。(第18図参照)



第 16 図



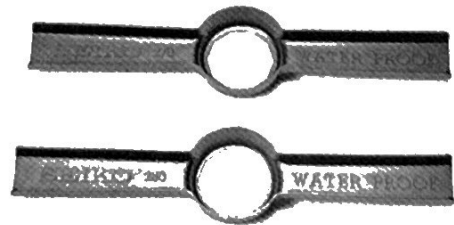
第 17 图



第 18 图



第 19 图



第 20 图

ケースホルダーの使用方法

SEIKOマークの下の数字 340, 355, 370 はケースホルダーそれぞれに合うケースの外径寸法を示し、 $\frac{1}{10}$ ミリ単位で表わしてあります。(第19図)

使用順序

1. 万力にケースホルダーを取付けます。
2. 裏蓋を上に向けて時計をホルダーに入れます。
3. オープナーを親指で強く押さえながら廻します。(第21図)



第 21 図

価 格 オープナー・ケースホルダーセット 1,000円

使用組合せ一覧表

| 防 水 側 | | | | | | オープナー | ケースホルダー | |
|-------|---|---|---|-------------|-----|---------|---------|-----|
| チ | ャ | ン | ピ | オン | 19石 | J 13047 | P 型 | 340 |
| ク | | ロ | ノ | ス | 21石 | J 13028 | P 型 | 355 |
| ク | | ロ | ノ | ス | 23石 | J 13028 | P 型 | 355 |
| ク | | ロ | ノ | ス | 21石 | J 13032 | P 型 | 355 |
| ク | | ロ | ノ | ス | 21石 | J 13046 | P 型 | 355 |
| セ | イ | コ | ー | マチック | 20石 | J 12082 | P 型 | 370 |
| セ | イ | コ | ー | マチックセルフデーター | 39石 | J 13060 | 280型 | 370 |
| セ | イ | コ | ー | マチックセルフデーター | 39石 | J 13085 | 280型 | 370 |

3. 減圧防水試験器

この試験器は減圧試験法により防水性を検査するものです。

防水時計の試験方法は、ほかに加圧試験法などがありますが、この減圧試験法によりますと、試験中防水側に不良個所があった場合にどこが不良かを簡単に発見することができるほか、次のような利点をそなえております。

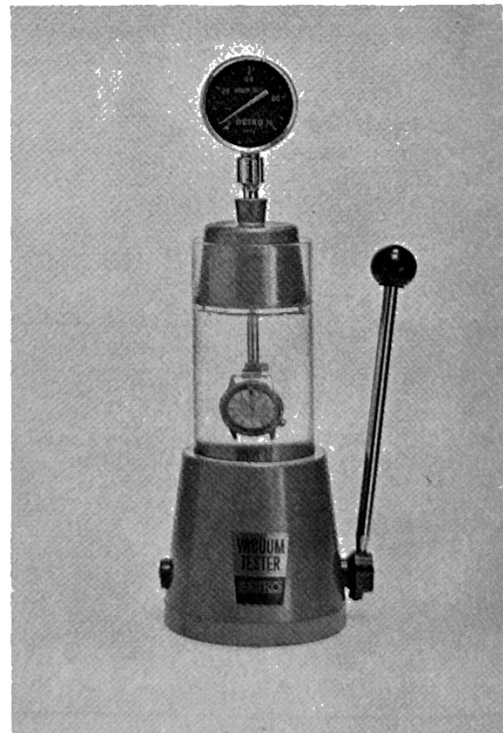
- ① 防水時計の販売に先立ち、防水側のすぐれた性能を実際に試験を行なうことによって、より一層お客様にご納得いただくことができます。
- ② 従来なんの検査方法もとられていなかった使用中の防水時計について、いつでも簡単に検査をすることが可能であり、アフターサービスに一段と精彩を加えます。
- ③ 防水時計の修理に際しては、絶対的な信頼と修理後の防水性能復元に確信を得ることができます。
- ④ コンパクトにまとまったデザインと美しい仕上げをそなえた本器は、店頭効果を高め、時計修理に対する信用のシンボルになります。

以下、減圧試験器（SD-6型）の取扱い方についてご説明いたします。

1. 仕様

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 名 称 | セイコー防水時計減圧試験器 |
| 減 圧 範 囲 | ½気圧(38cm/Hg)以上 |
| 検 査 個 数 | 2 個 |
| 検 査 時 間 | 5 分 |
| 試 験 水 容 量 | 0.5リットル |
| 使 用 液 配 分 | 防錆液 (ホートグライント) 1/100 中性洗剤 1/300 |

減圧防水試験器(SD-6型)



2. 検査方法

検査を行なう時計を所定の掛金にかけ、水槽内に挿入し、レバーを試験器の後方に一杯まで倒しますと、水位は下り真空計は38cm/Hgの朱線以上を示します。この時が $\frac{1}{2}$ 気圧減圧した状態です。

従って時計の内部と外部の気圧が変わってきます。つまり時計の外部の圧力が減圧されているため、時計内部との間に圧力差が生じ、万一防水側に不良個所があればその個所から気泡が発生します。

時計をセットし、レバーを倒して減圧した際に、時計に付着した気泡は、ソケット(メーターの首の部分)を回すことによって簡単にとれますが、その他に僅かの気泡が最初に生じることがあります。これは側の内部で、しかもパッキンの外にあたる僅かなすきまにあった空気が泡になって出るもので、防水不良とは関係ありません。これと混同しないために時計を軽くまわしながら気泡を除き、なお約1分間の放置をして確かめます。試験が終わったらレバーを手前に戻さずに、必ず真空計をあげ(この時、時計は水槽内の空気の部分に出る)水槽内部に空気を入れてもとの圧力に戻してください。減圧状態から平圧に戻すことは加圧をしている結果になりますので、時計を水槽内の水の中に入れたまま戻すと気泡を生じた時計には逆に水が入り、機械の手入れが必要になってまいります。

なお、詳しくは“使用順序”をご参照ください。

3. 試験液の特長と製法

① 防錆液(ホートグラインド)

これは特殊な合成化学防錆液で、時計側に付着した水分によって生じる錆を完全に防ぎます。1回の使用量は液全体の約 $\frac{1}{100}$ ですから、附属のホートグラインド容器の蓋に2杯(約5cc)が適量です。

② 中性洗剤

通常家庭で使用されているもので十分です。使用量は約 $\frac{1}{300}$ ですから、ほんの2・3滴にあたります。中性洗剤を使用することによって、時計側を試験液にいった際、側全体に付着した気泡を取除き、不良個所から発生する気泡を明確に判別することができます。容器に水約0.5リットルをとり、上記二種の液

体を所定量加え、よくかき回わしてください。これで試験液ができました。
なお、洗剤を適量以上に混入しますと、かき回わした際 unnecessary な泡を生じますからご注意ください。又、本液は試験に何度使用しても差支えありませんが濁って来たり、混入物が目だつようになりましたら新しい液とお取換えください。長期間にわたって使用しない時は試験液を捨て、水槽内を乾燥しておくことがのぞましい状態です。

4. 使用順序

- ① まず、頭部（真空計と蓋）の部分を本体より取りはずします。
- ② レバーを手前の方に引いて水平になるまで倒してください。
- ③ 試験液を水槽内の朱色のパッキンが浸りきるまで入れてください。
- ④ 次に試験をする時計を掛金にかけます。革バンド、金属クサリをはずして時計側のバネ棒が掛金の曲った部分に安定するようにかけてください。
- ⑤ 時計をかけたまま水槽にセットし、真空計の部分を一杯までおろしてください。
- ⑥ 左手で試験器の蓋をしっかり押さえ、右手でレバーを握り、試験器後方に止るまで倒します。
- ⑦ 真空計の針は38以上の目盛を示します。この状態で試験を行ないます。ソケット（メーターの首）の部分をもって2，3度振り回しながら気泡を生じたものについては、それがどこから出るかを確認してください。
- ⑧ 試験が終了したら、真空計の部分を一杯に引きあげてください。
- ⑨ 導圧管下部の穴を通して空気が水槽内部に入り、真空計の針は0に戻ります。その結果、内部は外部と同じ気圧になりますから、頭部は容易にはずれます。静かに引上げ時計をはずしてください。

5. 試験する時計の取扱い方

- ① 修理した側は、ムーブメントを組みこむ前に、予め防水試験をすませてください。
- ② ムーブメントを入れたままで試験をする場合、気泡を生じた時計は、ムーブメントをとり出し、水が入っているものについては分解掃除を行なってください。

6. 試験器取扱い上の注意

- 1) 持ち運びには水槽を持つことは避け、下部の台とレバーをお持ちください。
- 2) 頭部は先端の方に重心があり倒れ易いので、取扱いには十分ご注意ください。蓋の下部（パッキングとの接触部）が変形しますと、密閉、減圧に支障をきたします。

減圧中、レバーを試験器後方に倒す際、左手でしっかり蓋の部分を押え、一気に倒してください。途中で止めますと内部のクランクが反射的に戻って、レバーをはじく事があります。（減圧する際のレバーの重みは先端で約3.8 kgのトルクがかかります）

水槽底部に見える底板は、衝撃を与えますと破損しやすいのでご注意ください。

防錆液は必ずホートグラインドをご使用ください。中性洗剤は特に指定はありません。

7. 故障と修理

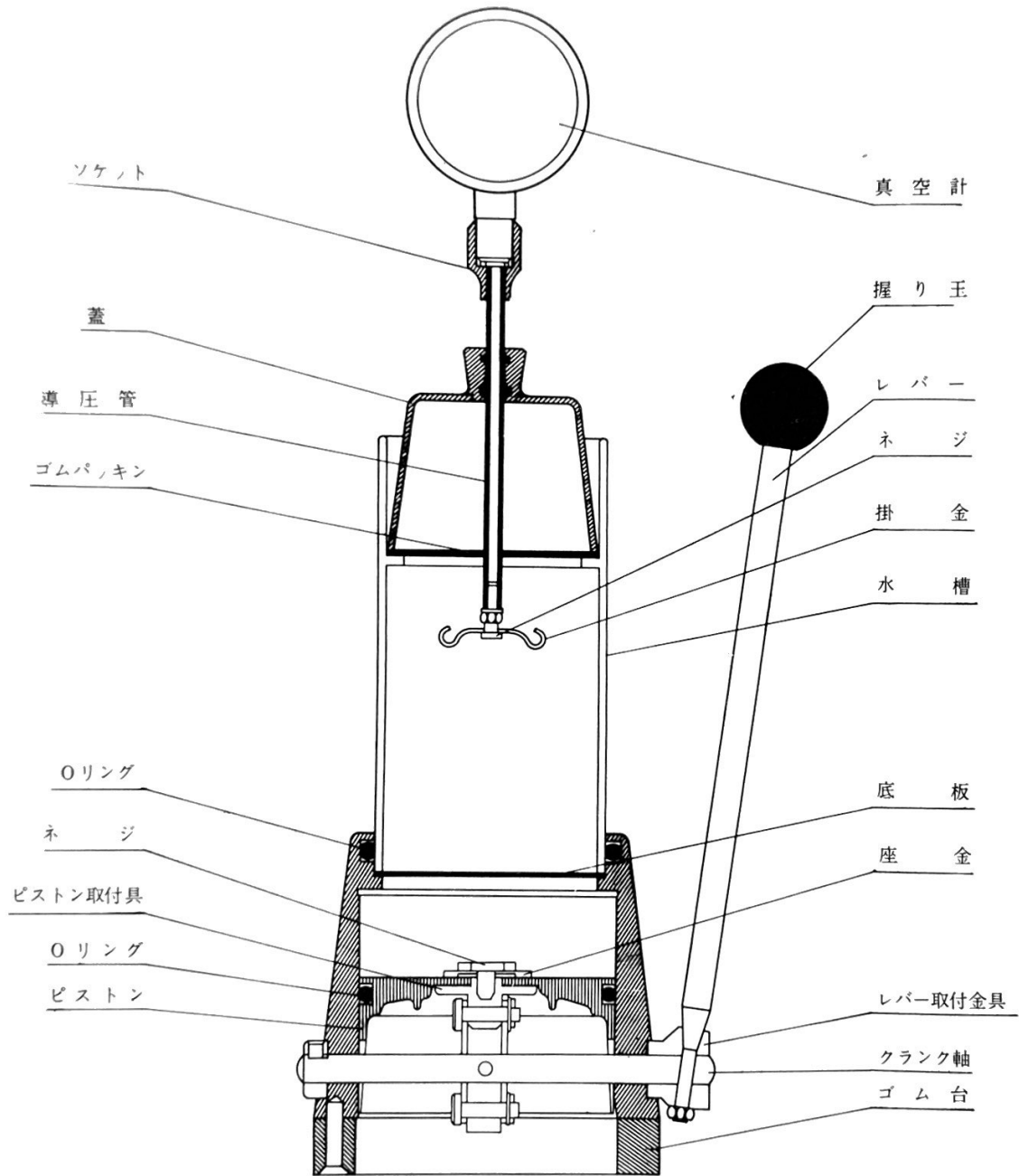
故障を生じることは殆んどありませんが、水槽の破損、蓋の変形には十分ご注意ください。

万一真空計が故障した場合は、分解などなさらずすぐご連絡ください。

パッキング、ホートグラインド等消耗部品、その他部品類については、随時お申込みをお待ち致しております。

8. 価 格 1セット 12,000円

減圧試験器部品名称



第 22 図

6. 防水用部品をご注文なさる時の注意事項

1. 防水用部品をご注文くださる時に、よく「セイコーマチックの防水ガラス」とか、「フェアウエイのリユーズ」とか、時には見本添附で「これと同じものを送れ」などといわれることがあります。これだけではお望み通りの品をお送りすることができません。

必ず、機種名・石数・側番・側質の4種をご指定の上、部品をご注文くださるようお願いいたします。但し、名称記号（例えば50WH11）と側質とでご注文いただいても結構です。

なお、外装部品のご注文にあたっては、巻末の部品一覧表をご参照ください。

2. 巻真はつぎの表に示すように、同一機種でも並と防水とで寸度の異なる場合があります。従って巻真ご注文の際は必ず「防水用」とご指定ください。

| | | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 機種 | ライナー | スカイライナー | スカイライナー カレンダー | セイコーマチック (17石) MA | セイコーマチック (20石) MA | セイコーマチック (30石) MA |
| 巻真 | LN | SLN | SLNC | | | |
| 並 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 防水 | ○ | ○ | | ● B.Y. | ● 30m S.W. 旧 新 | |
| 機種 | セイコーマチック セルフデーター (24石) | セイコーマチック セルフデーター (39石) | スポーツマチック (17石) | スポーツマチック カレンダー | スポーツマチック ファイブ | |
| 巻真 | MAS | MASK | SMA | SMAC | SMA5 | |
| 並 | ● | | ● | ● | | |
| 防水 | ○ | ● | ● | ● | ● | |
| 機種 | スポーツマン セブンティーン | スポーツマン17 カレンダー | チャンピオン | チャンピオン カレンダー | クロノス | フェアウエイ |
| 巻真 | SMS | SMSC | CH | CHC | C | FW |
| 並 | ● | ○ | ○ | ○ | ● | |
| 防水 | ○ 5m DOL | ○ | ○ F.F. | ○ ALP | ○ | ● 旧 新 |
| 機種 | チャンピオン 850 | チャンピオン カレンダー 860 | ファッション | バーデイ | コーラス | スポーツレディ セブンティーン |
| 巻真 | CH85 | CHC86 | FA | BD | CR | SLS |
| 並 | ● | ○ | ● | ● | ○ | ○ |
| 防水 | ● 30m ALP | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |

(注) 線で結んだものは共通（寸度が同じ）であることを示します。(注) 新, 旧については28ページ参照。

(注) B.Yはブルーヨット S.Wはシルバーウェーブ DOLはドルフィン FFはフライングフイッシュ ALPはアルピニストの略

3. スポーツマンセブンティーン J 13035
 チャンピオン 17石 J 13033
 チャンピオン 19石 J 13047
 パーブル 5289

の防水ガラスは、接着剤使用のため、ガラス単体では販売いたしておりませんので不良の際は時計ごとお預りさせていただきます。

4. 規格変更部品について

① フェアウエイ—つぎ手巻真と巻真ブッシュ(パイプ)

フェアウエイのつぎ手巻真は、B巻真(リュウズ側)の太さ(胴径)が1.2mmから1.65mmに変更され、同時に巻真ブッシュ(パイプ)の使用を中止しました。今後、ブッシュ不良に対しては従来通りブッシュをお送りしますが、巻真のご注文に対しては新巻真(ブッシュなし)をお送りすることになります。

② シルバーウェーブ—巻真・駆動車・リュウズ

シルバーウェーブ用の巻真・駆動車・リュウズは、初期のものと寸度が異なりますので部品交換の際はご注意ください。

| (見分け方) | 新 | 旧 |
|--------|--------|--------|
| 巻真ネジ径 | 0.90mm | 0.80mm |
| 〃 長さ | 7.60mm | 6.90mm |
| リュウズ | ダボが長い | ダボが短い |
| 駆動車穴径 | 0.95mm | 0.85mm |

但し旧のリュウズに新の巻真は組み合わせ可能です。

③ シルバーウェーブ—裏ブタパッキン

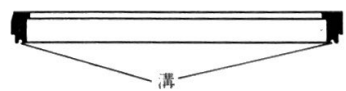
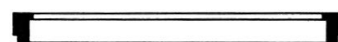
シルバーウェーブの裏ブタパッキンが変更さ

れました。 { 旧規格パッキン名称 OC 2980 }
 { 新規格 〃 OC 3060 }

識別方法はつぎのとおりです。(第23図)

旧規格：中枠表面は単純な平面

新規格：中枠表面に溝がある。



第 23 図

お客様に

高性能なセイコー防水時計をおすすめください。

この技術手帳では、セイコーの防水時計の優秀な機能と、きびしい検査等について説明いたしました。

店頭での自信にあふれたご説明こそお客様が納得し、お店の信頼にもつながるものと思います。

—セイコーの防水時計は—

■5mから50mまでの水圧に耐える各種の防水時計があり、それぞれにすぐれた防水性能を発揮しています。

■男性的魅力にあふれたダイナミックなデザインです。

■防水機構から時計体にいたるまで十分な堅牢性を保持しています。

最近では季節に関係なくお客様は防水時計を要求してまいります。そんな時には自信を持ってセイコーの防水時計をおすすめください。

※お客様には特に次の点をご説明ください。

- (1)水中ではもちろん、水滴のついたままリュウズを回わして針を合わせることのないよう注意してください。
- (2)水に浸けた場合はご使用後水滴をよく拭き取ってください。特に海水に浸けた場合は真水で塩分を洗い落とすことが必要です。
- (3)防水性をそこなう危険がありますので、ガラス縁や裏ブタの開閉は必ず時計店にご相談下さるようご注意ください。
- (4)防水性を保持するために、2年目ごと位にガラス、リュウズ、パッキンなど防水時計用部品を交換なさるようおすすめください。
- (5)特に水中あるいは有機ガス中でご使用になる機会の多い場合は、1年目ごとに部品を交換する必要があります。
- (6)部品交換の際は「セイコーの純正部品」をご指定ください。
- (7)万一時計に水が入った場合は、応急措置としてガソリン、ベンジン等に浸け、早目に時計店にご持参ください。

▲防水時計のガラス内部のクモリについて

防水時計のガラスのクモリの発生は、使用時や組立時の温度と湿度によっていろいろな場合が考えられますので、クモリが発生するものが必ずしも防水不良とは云えません。一般的には、クモリが発生しても、腕に時計を付けていてクモリが消えるようなものでしたら、まず防水不良ではないとみてさしつかえありません。また、このような短かい間のわずかなクモリは機械にも何ら悪影響を与えません。

〈附 表〉 セイコー防水時計部

| 部品名 | | 機種 | クロノス21石 | クロノス23石 | クロノス21石 | クロノス21石 | ライナー21石 |
|------|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| | | 略号 | C 21 J | C 23 J | C 21 J | C 21 J | L N 21 J |
| | | 側番 | J 13028 | J 13028 | J 13032 | J 13046 | 14090 |
| | | 側質 | SS | SS | SS | SS | SS |
| 側 | 構造 | 2つ開き(中枠付) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2つ開き(中枠なし) | | | | | |
| | | 3つ開き | | | | | |
| | | 説明図註1 | B G H | B G H | B G H | B G H | D E H |
| | 裏 | ブ | スナック スクリュー(溝式) | ○(リング) | ○(リング) | ○(リング) | ○(リング) |
| タ | パッキン名称註3 | シーホース OC 2980 | シーホース OC 2980 | シーホース OC 2980 | シーホース OC 3060 | シーホース OC 2980 | シーホース OC 2980 |
| | 中枠押エバネ | | | | ○ | | |
| ガラス | 名称 | IHC 31 W | C 31 W | C 31 W | C 31 W | C 31 W | L N 33 W |
| | 締着付 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | パッキン名称 | | | | | | F H 3240 |
| その他 | 名称 | 18 ^m (通し) | 18 ^m (通し) | 18 ^m (通し) | 18 ^m (通し盲穴) | 18 ^m (通し盲穴) | 19 ^m (盲穴) |
| | 巾 | T-180 | T-180 | T-180 | T-180 C-180 | T-180 C-180 | C-190 |
| | バネ棒名称 | | | | | | ○(目盛なし) |
| | 文字板押エリング | | | | | | |
| | 文字板押エパッキン | | | | | | |
| | 表示板 | | | | | | |
| | 駆動板 | | | | | | |
| 文字板 | 種別 | 並 | 並 | E D | E D | E D | S D |
| | 夜光 | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | マク | WATER PROOF | WATER PROOF | SEA HORSE | WATER 50 PROOF | WATER 50 PROOF | WATER 30 PROOF |
| | 番号 | N-209 | H-150 | H-196 | H-265 H-299 | H-265 H-299 | N-305 |
| リュウズ | 名称 | 55W S 12 | 55W S 12 | 55W S 12 | 55W S 12 | 55W S 12 | 45W 4 |
| | パッキン名称 | | | | | | |
| 特殊部品 | 駆動車 | | | | | | |
| | スプリング | | | | | | |
| 附属 | バンド | クサリ | クサリ | クサリ | クサリ | クサリ | クサリ |
| 備考 | | 高級防水 | 高級防水 | 高級防水 | | | |

註1. 側構造欄中説明図の表示(アルファベット)は7ページ「セイコー防水時計の構造」を参照

註2. 接着剤使用のため、ガラス単体では販売致しておりませんので、不良の際は時計ごとお預りさせていただきます。

品一覽表

(昭和38年9月現在)

| スカイライナー21石 | スポーツマン セブンティーン17石 | スポーツマン セブンティーン17石 | スポーツマン セブンティーン カレンダー17石 |
|--|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| S L N 21 J | S M S 17 J | S M S 17 J | S M S 17 J |
| 14092 | J 13035 | 14091 | 14112 |
| S S | S S | S S | S S |
| ○ | ○ | ○ | ○ |
| D E H | A E H | B E H | B E H |
| ○ | ○ | ○ | ○ |
| シーホース O C 2980 | ドルフィン O B 2910 | シーホース O C 2980 | シーホース O C 2980 |
| L N 33W | 註 2 | C H 32W | S M A 32W |
| ○ | ○ | ○ | ○ |
| F H 3240 | | | |
| 19 ^m (盲穴) C - 190 ○(目盛なし) | 18 ^m (通し) T - 180 | 18 ^m (盲穴) C - 180 | 18 ^m (盲穴) C - 180 |
| S D E D | 並 | 並 | 並 |
| ○ | ○ | ○ | |
| WATER 30 PROOF H - 249 H-297 | DOLPHIN S - 449 | WATER PROOF S - 482 | WATER PROOF N - 367 |
| 45W 4 | 45W 1 | 50W S 2 | 50W S 2 |
| | | | |
| クサリ | クサリ | クサリ | クサリ |
| | 実用防水 | | |

註3. 裏ブタOリングパッキンは一部並時計とも共通するものがあります。
 OB 2910...J 141 00, 15021 (FGF, AGFのみ) クラウンスペシャル
 OB 2825...J 14070 グランドセイコー, 15033クロノススペシャル,
 J 14102, 15034 キングセイコー,
 15021(SSのみ)クラウンスペシャル。
 OC 2740...15023, 15027 ロードマーベル。

| 部品名 | | 機種 | チャンピオン17石 | チャンピオン17石 | チャンピオン17石 | チャンピオン17石 |
|----------|--------------------------------------|--|------------------------------|---|-----------------------------|--|
| | | 略号 | CH 17 J | CH 17 J | CH 17 J | CH 17 J |
| | | 側番 | 14082 | J 13033 | J 13043 | J 13049 |
| | | 側質 | SS | SS | SS | SS |
| 側 | 構造 | 2つ開き(中枠付) 2つ開き(中枠なし) 3つ開き 説明図註1 | ○ CEH | ○ AEH | ○ BEH | ○ BEH |
| | 裏 ブ タ | スナップ スクリュー(溝式) スクリュー(10角式) マク パッキン名称註3 中枠押エバネ | ○ フライングフィッシュ OC 2810 | ○ アルピニスト OB 2910 | ○ アルピニスト OB 2910 | ○ アルピニスト OB 2910 |
| | ガラ ス | 名称 接着 締付 パッキン名称 | 旧 CH32W ○ | 註 2 ○ | CH 32W ○ | CH 32W ○ |
| | そ の 他 | 鉢 バネ棒名称 文字板押エリング 文字板押エパッキン 表示板 駆動板 | 19mm(通し) T-190 ○(目盛なし) | 18mm(通し) T-180 | 18mm(通し) T-180 | 18mm(盲穴) C-180 |
| | 文字 板 | 種 夜 マ 番 | 別 光 ク 号 | 並 ○ FLYINGFISH H-190(夜光) S-405 | 並 ○ ALPINIST S-419 | 並 ○ ALPINIST WATER PROOF N-342 |
| リュ ウズ | 名 パッキン名称 | 称 | 50W S 12 | 50W S 12 | 50W S 12 | 50W S 12 |
| 特殊 部品 | 駆 動 車 ス プ リ ン グ | 称 | | | | |
| 附属 | バ ン ド | 称 | クサリ | ナイロン | ナイロン | ナイロン |
| 備考 | | | 標準防水 | | | |

註1. 側構造欄中説明図の表示(アルファベット)は7ページ「セイコー防水時計の構造」を参照

註2. 接着剤使用のため、ガラス単体では販売致しておりませんので、不良の際は時計ごとお預り
させていただきます。

| チャンピオン17石 19石 | チャンピオン19石 | チャンピオン 850 17石 | チャンピオン 850 17石 | チャンピオン カレンダー19石 |
|-----------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| CH17J, 19J | CH19J | CH8517J | CH8517J | CHC19J |
| J13040 | J13047 | J13079 | 85898 | J13050 |
| SS | SS | SS | SS | SS |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BEH | AFH | BEH | BEH | BEH |
| ○ | ○ (一体) | ○ | ○ | ○ |
| シーホース OB2880 | シーホース FA2860 | アルピニスト OB2910 | シーホース OB2880 | シーホース OC3060 ○ |
| CH32W | 註 2 ○ | CHC86-32W | CH85-32W | CHC32W |
| ○ FH3130-2 | | ○ | ○ | ○ FH3130-1 |
| 19 ^m (通し) T-190 | 18 ^m (通し) T-180 | 18 ^m (盲穴) C-180 | 19 ^m (盲穴) C-190 | 19 ^m (盲穴) C-190 |
| 並 ○ | ED | 並 ○ | 並 | ED |
| WATER 30 PROOF N-312(夜光) N-338 | WATER PROOF S-510 | ALPINIST WATER PROOF N-353 | WATER 30 PROOF 85898 | WATER PROOF N-340 |
| 50WS12 | 50WS12 | 50WS12 | 50WS12 | 55WS12 |
| | | | | |
| クサリ | ナイロン | ナイロン | クサリ | クサリ |
| | プラスチック製中枠 | | | |

| 部品名 | | 機種 | チャンピオン カレンダー 86017石 | フェアウェイ21石 | セイコーマチック 17石 | セイコーマチック 20石 |
|-----|--------------|--|--|---|--------------------------------|---|
| | | 略号 | CHC 86 17 J | FW 21 J | MA 17 J | MA 20 J |
| | | 側番 | J 13078 | J 13048 | J 13034 | J 13044 |
| | | 側質 | SS | ASTP, AEGP | SS | SS |
| 側 | 構造 | 2つ開き(中枠付) 2つ開き(中枠なし) 3つ開き 説明図註1 | ○ BEH | ○(ワンピース) CI | ○ DEJ | ○ DEJ |
| | 裏 ブ タ | スナップ スクリュー(溝式) スクリュー(10角式) マク パッキン名称註3 中枠押エバネ | ○ シーホース OC 3060 | ○ シーホース | ○ ブルーヨット OB 2910 | ○ ドルフィン OB 2910 |
| | ガラ ス | 名称 接着 締付 パッキン名称 | CHC 86-32W ○ | FW33W ○ FH3130-2 | MA 32W ○ | MA 32W ○ |
| | そ の 他 | 鉢 バネ棒名称 文字板押エリング 文字板押エパッキン 表示板 駆動板 | 19mm(盲穴) C-190 | 19mm(盲穴) C-190 ○(目盛なし) FG 2850 | 18mm(盲穴) C 180 ○(目盛あり) | 18mm(盲穴) C-180 ○(目盛あり夜光付) |
| | 文 字 板 | 種 夜 マ 番 | 別 光 ク 号 AD WATER PROOF N-369 | ED WATER 30 PROOF N-282 | SD ○ BLUE YACHT H-207 | SD, AD ○ WATER 30 PROOF H-207, H-307 |
| | リュ ウ ズ | 名 パッキン名称 | 55WS12 | 50WH11 | 30NI DE60 | 30NI DE60 |
| | 特殊 部品 | 駆 動 車 ス プ リ ン グ | | | | |
| | 附属 | バ ン ド | クサリ | クサリ, 革, ナイロン | クサリ | クサリ |
| 備考 | | | つぎ手巻真 | 標準防水 | | |

註1. 側構造欄中説明図の表示(アルファベット)は7ページ「セイコー防水時計の構造」を参照。

註2. 接着剤使用のため、ガラス単体では販売致しておりませんので、不良の際は時計ごとお預り
させていただきます。

| | | | | |
|--|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--|
| セイコーマチック 20石 | スポーツマチック 17石 | スポーツマチック 17石 | スポーツマチック カレンダー-19石 | セイコーマチック セルフデーター-24石 |
| M A 20 J | S M A 17 J | S M A 17 J | S M A C 19 J | M A S 24 J |
| J 12082 | J 13045 | J 13058 | J 13057 | J 13059 |
| S S | S S | S S | S S | S S |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| G K | B E J | B E J | B E J | D E J |
| ○(リング) | ○ | ○ | ○ | ○ |
| シルバーウェーブ 註 4 | ドルフィン O B 2910 | ドルフィン O B 2910 | ドルフィン O B 2910 | ドルフィン O B 2910 |
| M A 34 W | S M A 32 W | S M A 32 W | S M A C 32 W | M A 32 W |
| ○ | ○ F H 3130-2 | ○ | ○ | ○ |
| 18 ^m (通し) T-180 | 18 ^m (通し) T-180 | 18 ^m (盲穴) C-180 | 18 ^m (盲穴) C-180 | 18 ^m (盲穴) C-180 ○(目盛あり) |
| ○(目盛あり夜光付) ○ | | | | |
| S D, A D ○ WATER 50 PROOF SILVER WAVE H-219, H-332 | E D WATER 30 PROOF H-260 | E D WATER 30 PROOF H-308 | E D WATER PROOF H-285 | S D, A D WATER 30 PROOF H-270, H-340 |
| 55 W H I | 35 N 2 D E 60 | 35 N 2 D E 60 | 35 N 2 D E 60 | 35 N 3 D E 60 |
| ○ ○ | | | | |
| クサリ | クサリ | クサリ | クサリ | クサリ |
| | 側目盛付 | 側目盛付 | | |

註4. 昭和38年6月より裏ブタパッキン規格変更

旧規格 O C 2980 新規格 O C 3060

新旧識別等くわしくは28ページ「4 規格変更部品, ③シルバーウェーブ裏ブタパッキン」の項
をご参照ください。

| 部品名 | | 機種 | セイーマチック セルフデーター-39石 | セイコーマチック セルフデーター-39石 | スポーツマチック ファイブ 21石 |
|------------------|--------------------------------------|--|---|---|---|
| | | 略号 | MASK 39j | MASK 39j | SMA 5 21j |
| | | 側番 | J 13060 | J 13085 | J 13081 |
| | | 側質 | SS | SS | STP EGP |
| 側 | 構造 | 2つ開き(中枠付) 2つ開き(中枠なし) 3つ開き 説明図註1 | ○ DFJ | ○ DFJ | ○ DEJ |
| | 裏 ブ タ | スナップ スクリュー(溝式) スクリュー(10角式) マク パッキン名称註3 中枠押エバネ | ○ ドルフィン OB 3005 | ○ ドルフィン OB 3005 | ○ ドルフィン OB 2910 |
| | ガラ ス | 名称 接着 締付 パッキン名称 | LN 33W ○ | LN 33W ○ | SMAW 32W ○ |
| | そ の 他 | 鉢 巾 バネ棒名称 文字板押エリング 文字板押エパッキン 表示板 駆動板 | 18 ^m (盲穴) C-180 ○ (目盛あり) | 18 ^m (盲穴) C-180 ○ (目盛あり) | 18 ^m (盲穴) C-180 ○ (目盛あり) |
| | 文 字 板 | 種 夜 マ 番 別 光 ク 号 | S D A D WATER 50 PROOF H-293, H-370 | A D WATER 50 PROOF H-370 | A D WATER PROOF H-360 |
| リ ュ ウ ズ | 名 パ ッキ ン 名 称 | 35N 3 DE 60 | 35N 3 DE 60 | 35N 2 DE 60 | |
| 特 殊 部 品 | 駆 動 車 ス プ リ ン グ | | | | |
| 附 属 | バ ン ド | クサリ・革 | クサリ・革 | クサリ・革・ナイロン | |
| 備 考 | | | | | |

註1. 側構造欄中説明図の表示(アルファベット)は7ページ「セイコー防水時計の構造」を参照。

註2. 接着剤使用のため、ガラス単体では販売致しておりませんので、不良の際は時計ごとお預りさせていただきます。

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| スポーツマチック ファイブ 21石 | | | | | |
| SMA 5 21j | | | | | |
| 13081 | | | | | |
| STP EGP | | | | | |
| ○ | | | | | |
| DEJ | | | | | |
| ○ | | | | | |
| ドルフィン OB 2910 | | | | | |
| SMAW 32W | | | | | |
| ○ | | | | | |
| 18 ^m (通し) T-180 ○(目盛あり) | | | | | |
| AD | | | | | |
| WATER PROOF H-367, H-368, H-374 | | | | | |
| 35N2 DE 60 | | | | | |
| クサリ・革・ナイロン | | | | | |
| | | | | | |

| 部品名 | | 機種 | パープル17石 | ファッション17石 | ファッション17石 | コーラス17石 |
|----------|----------------------------|---|-------------------------------|-----------------------------------|---|-------------------------------|
| | | 略号 | P 17j | FA 17j | FA 17j | CR 17j |
| | | 側番 | 5289 | 5299 | 5321 | 7516 |
| | | 側質 | SS | SS EGP | SS EGP | —SS— |
| 側 | 構造 | 2つ開き(中 枠 付) 2つ開き(中 枠 なし) 3 つ 開 き 説 明 図 註1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 裏 ブ タ | ス ナ ッ プ スクリュー(溝 式) スクリュー(10角式) マ ー ク パッキン名称 註3 中 枠 押 エ バ ネ | ○ レインプルーフ OC 2070 | ○ エンゼルフィッシュ OC 2070 | ○ エンゼルフィッシュ OC 2070 | ○ エンゼルフィッシュ OC 2070 |
| | ガラ ス | 名 称 接 着 締 付 パ ッ キ ン 名 称 | 註 2 ○ | FA23W ○ | FA23W ○ | FA23W ○ |
| | そ の 他 | 鉢 巾 バ ネ 棒 名 称 文字板押エリング 文字板押エパッキン | 14 ^m (通し) T-140 | 14 ^m (通し) T-140 | 14 ^m (通し) T-140 ○ (目盛あり) | 14 ^m (通し) T-140 |
| 文字 板 | 種 別 夜 光 マ ー ク 番 号 | 並 N-115 | 並 註 5 N-130 | ED WATER 30 PROOF N-154 | 並 WATER PROOF N-9 | |
| リュ ウズ | 名 称 パ ッ キ ン 名 称 | 45W 1 | 45W 1 | 45W 1 | 45W 1 | |
| 特殊 部品 | | | | | | |
| 附属 | バ ン ド | ク サ リ | ク サ リ | ク サ リ | ナイロン | |
| 備考 | | | | | | |

註1. 側構造欄中説明図の表示(アルファベット)は7ページ「セイコー防水時計の構造」を参照。

註2. 接着剤使用のため、ガラス単体では販売致しておりませんので、不良の際は時計ごとお預りさせていただきます。

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| コーラス17石 | | | | |
| CR 17j | | | | |
| 7524 | | | | |
| SS | | | | |
| ○ | | | | |
| DEH | | | | |
| ○ | | | | |
| ンゼルフィッシュ OC 2070 | | | | |
| FA23W | | | | |
| ○ | | | | |
| 14 ^m (通し) T-140 ○ (目盛なし) | | | | |
| 並 | | | | |
| WATER PROOF N-11 | | | | |
| 45W 1 | | | | |
| | | | | |
| ナイロン | | | | |
| | | | | |

註5. ファッション17石防水 側番5299の文字板マークは当初 ANGELFISH でしたが、中途より WATER 30 PROOF に変更されました。

SEIKO
